お　知　ら　せ

筑後大堰（ちくごおおぜき）では洪水時（こうずいじ）（ゲート全開）の操作を終了しました

１．概要

筑後大堰では、前線の影響により、筑後大堰地点の河川流量が増加したことから、洪水を安全に流下させるため、令和４年７月１９日（火）６時４０分よりゲートの全開操作を実施しました。その後、筑後大堰地点の河川流量が減少したことから、塩水遡上を防止し水道用水等の安定取水を確保するため、令和４年７月２０日（水）１時４０分にゲートの全開操作を終了しました。

なお、今回のゲート全開操作は昭和６０年４月の運用開始より、１３８回目（今年度は１回目）となります。

２．状況

【雨量状況】※速報値

堰地点累計雨量：１７２㎜

（7 月 18 日 21 時から 7 月 19 日 15 時まで累計）

【河川水位状況】※速報値

ゲート全開操作中における

堰地点でのピーク水位 T.P.＋４．９３ｍ

（7 月 19 日 14 時）

【操作状況】

全開操作開始：７月１９日６時４０分

全開操作終了：７月２０日１時４０分

全開操作継続時間：１９時間００分

ゲート全開操作時の筑後大堰
（左岸上流から下流方向を望む）
令和４年７月１９日９時撮影
（堰地点水位 T.P.+4.37m）

※速報値については、今後変更することがあります。

※T.P.とは、全国の標高の基準となる海水面の高さである東京湾平均海面（Tokyo Peil）を表します。

※本日以降も降雨が予測されており、河川流量の増加により、再度全開操作を行う可能性があります。

筑後大堰の管理状況は、筑後大堰のホームページや携帯端末（スマートフォン・ｉモード等）でご覧になれます。

・筑後大堰のホームページは、
https://www.water.go.jp/chikugo/coozeki/

・現在のゲート状況は、
携帯端末（スマートフォン・ｉモード等）　https://ckgoozeki.jp

水がささえる豊かな社会
独立行政法人
水資源機構

令和４年７月２０日
独立行政法人水資源機構
筑後川下流総合管理所

60th 水資源機構

発表記者クラブ

久留米市政記者クラブ
佐賀県政記者クラブ

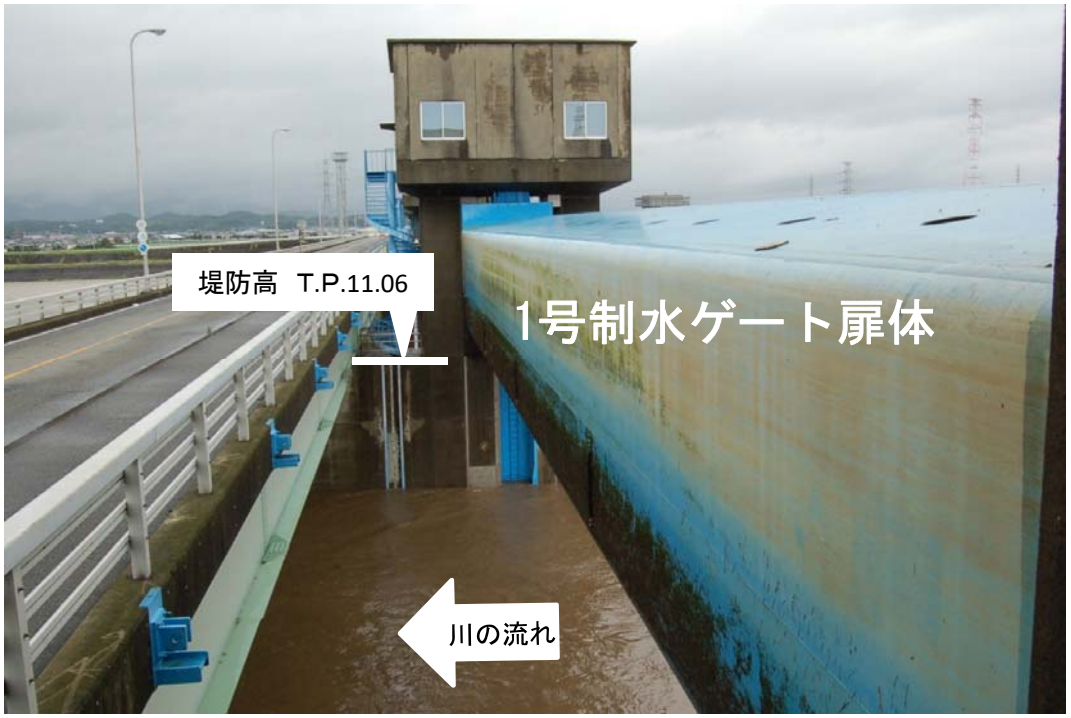
問い合わせ先

独立行政法人水資源機構　筑後川下流総合管理所
総務課長　野村（のむら）
住　所：福岡県久留米市安武町武島１０６３－２
電　話：０９４２（２６）４５５１

［参考］ゲート全開操作中と終了後の筑後大堰

ゲート全開操作開始後の筑後大堰　　７月１９日９時撮影
（左岸上流側から筑後大堰を望む）

ゲート全開操作終了後の筑後大堰　　７月２０日１０時撮影
（左岸上流側から筑後大堰を望む）



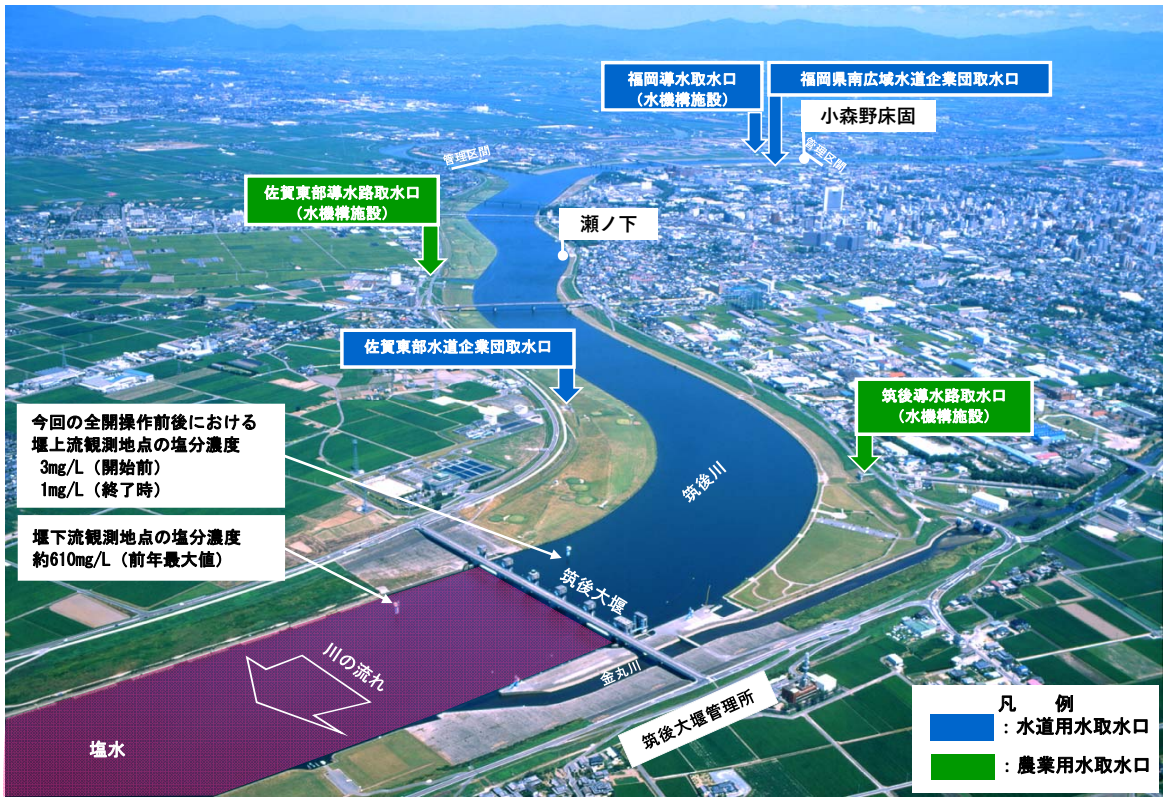
ゲート全開操作開始後の筑後大堰　　**７月１９日９時撮影**
（１号制水ゲートを左岸から右岸方向に望む）

ゲート全開操作終了後の筑後大堰　　**７月２０日１０時撮影**
（１号制水ゲートを左岸から右岸方向に望む）

※ゲートを着水させ、ゲートの下から放流(アンダーフロー)しています。

参考資料 1

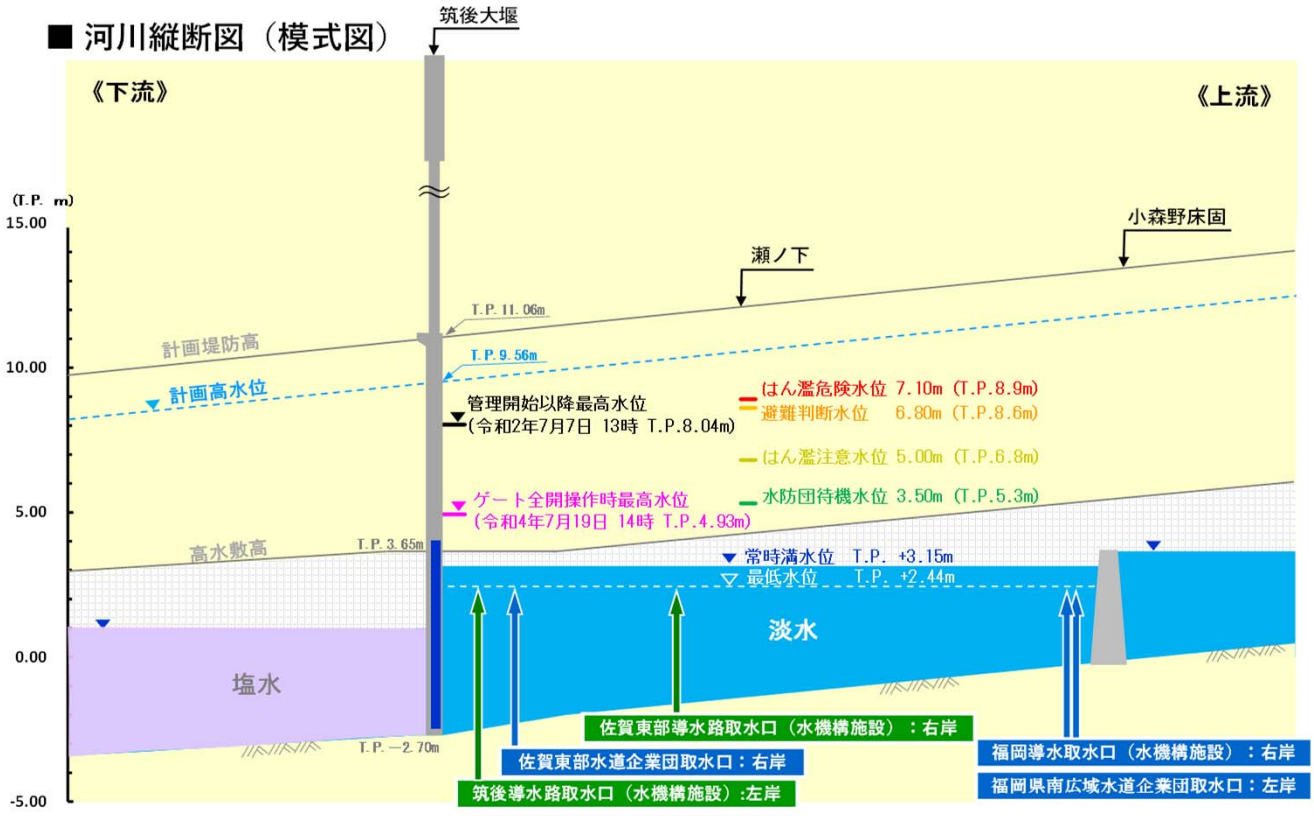
筑後大堰と堰上流取水地点との関係（堰上流6kmの範囲）



筑後大堰の運用によって、下流からの塩水遡上を防いで堰上流水域を淡水化するとともに、堰上流水位を一定に保つことにより、新たに水道用水が取水できるようになり、既得かんがい用水も安定した取水が可能になりました。
水道用水を取水している堰上流部では飲用に適する塩分濃度200mg/L以下という基準を満足しています。

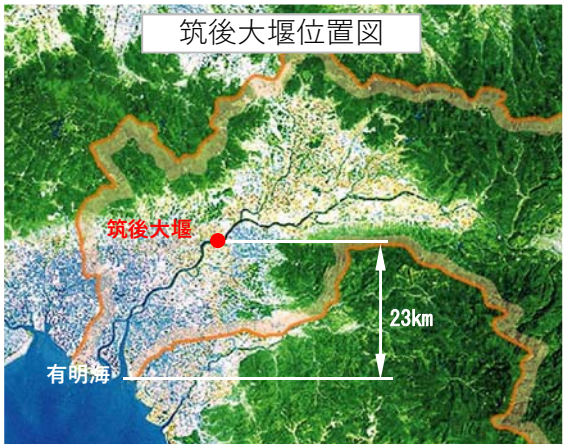
※写真上の塩水の着色はイメージです。

■ 河川縦断図（模式図）

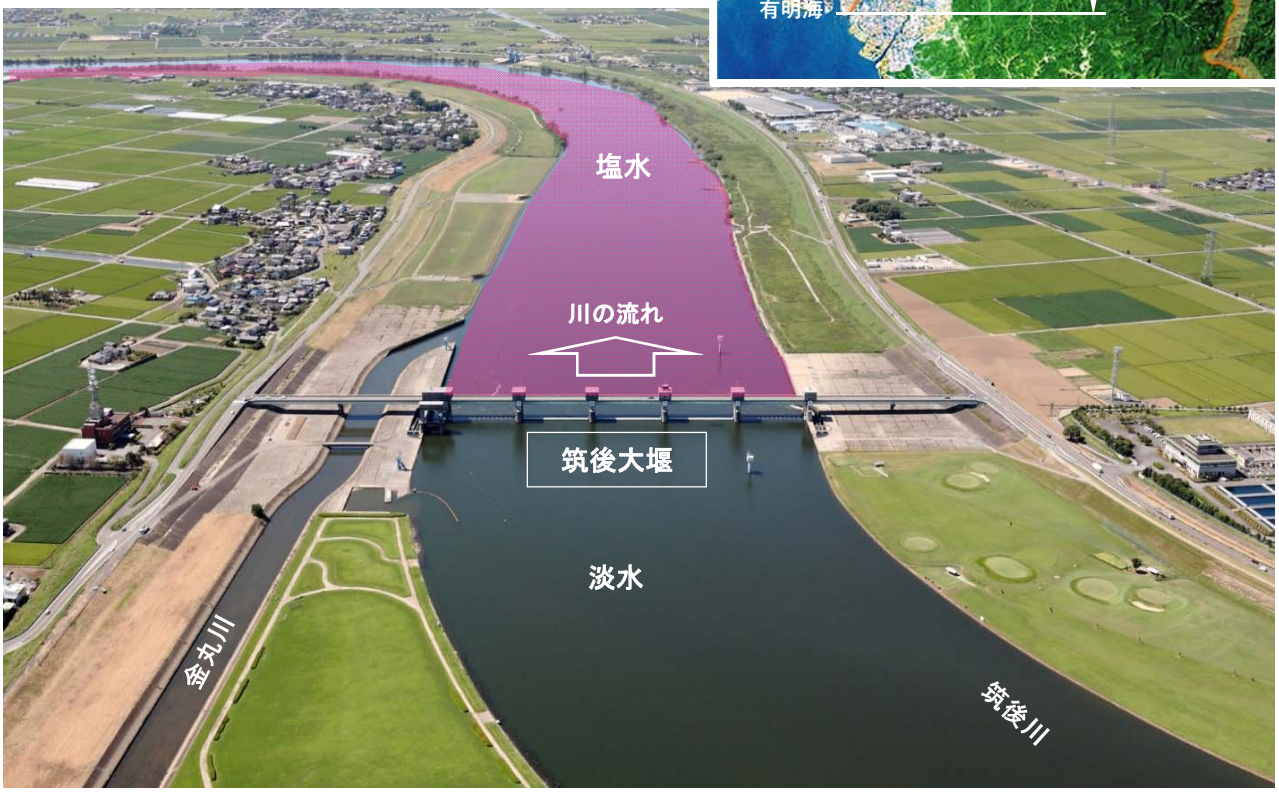


※T.P.は、東京湾平均海面からの高さ。
※瀬ノ下地点の河川水位は、国土交通省「川の防災情報」による。
※図中の塩水の着色はイメージです。

参考資料　２

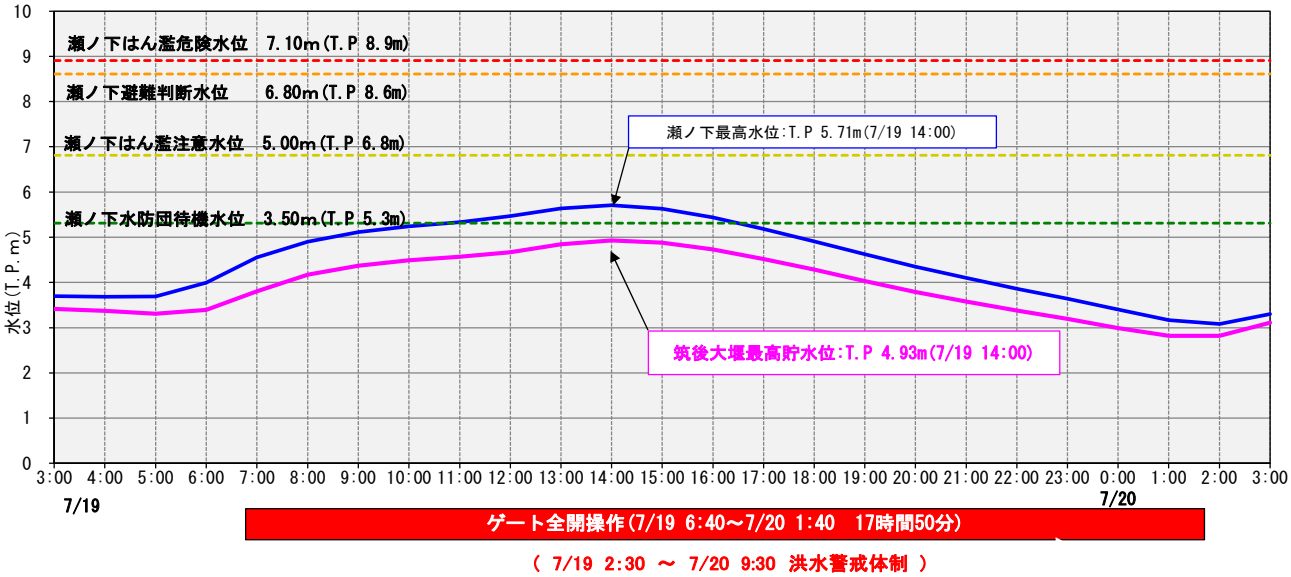


（堰上流から下流を望む）



※写真上の塩水の着色はイメージです。

【筑後大堰地点及び瀬ノ下地点の水位】



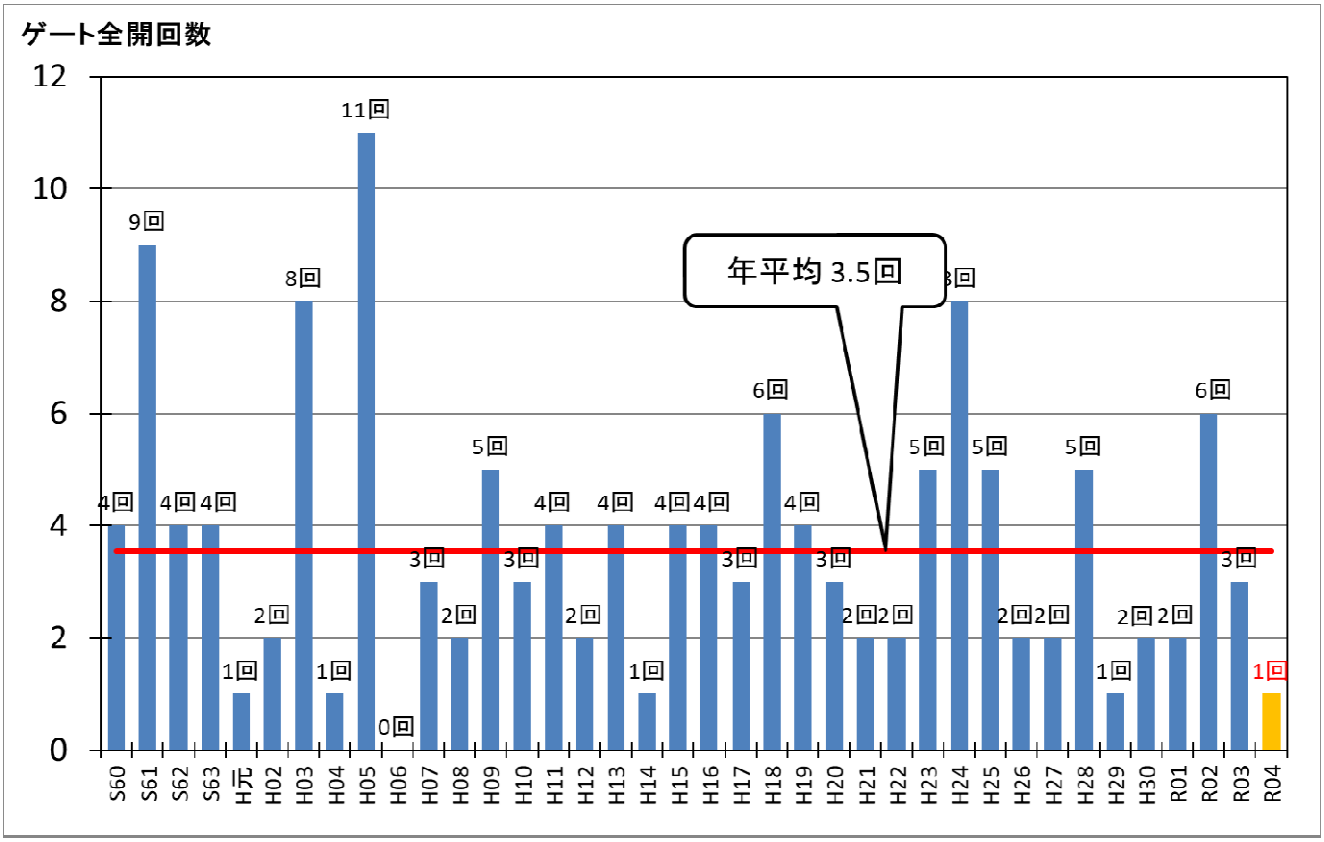
ゲート全開操作(7/19 6:40～7/20 1:40　17時間50分)

（ 7/19 2:30 ～ 7/20 9:30 洪水警戒体制 ）

※瀬ノ下水位グラフ（青線）は、国土交通省 川の防災情報のデータ(暫定値)を東京湾平均海面からの高さ（T.P.）に換算し、筑後大堰管理所(水資源機構)が作成したものなので今後変更になる可能性があります。

参考資料　３

【筑後大堰における管理開始以降の年別ゲート全開操作回数】



筑後大堰地点の管理開始からの最高水位上位5	
1位	T.P.　8.04m　(R2.7)
2位	T.P.　7.58m　(H24.7)
3位	T.P.　7.31m　(H30.7)
4位	T.P.　6.59m　(H 2.7)
5位	T.P.　6.57m　(H29.7)

(T.P.は、東京湾平均海面水位からの高さ)

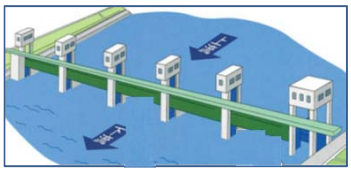
※ 筑後大堰地点最高水位１位のＴ．Ｐ．　８．０４ｍ（令和2年7月）については速報値であり、今後変更することがあります。

※ 今回のゲート全開操作開始（令和4年9月19日6時40分）から、操作終了（7月20日（本日）1時40分）までの堰地点における最高水位T.P.＋４．９３ｍは、筑後大堰の管理開始以降「３２位」となります。

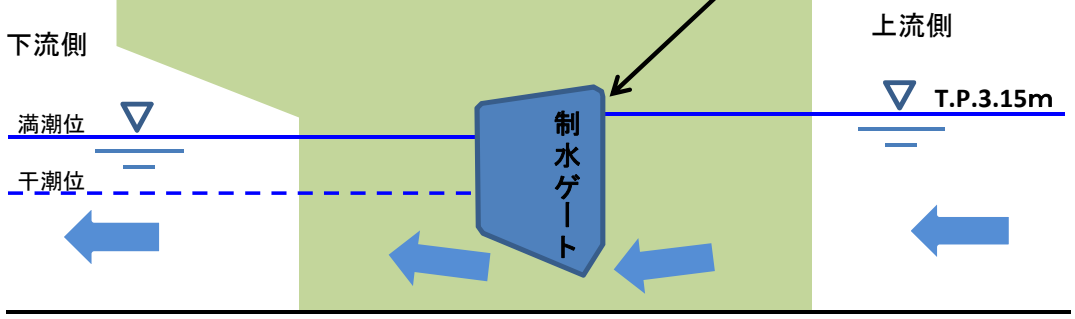
参考資料　4

平常時のゲート状態
（アンダーフローの模式図）

筑後大堰（イラスト）



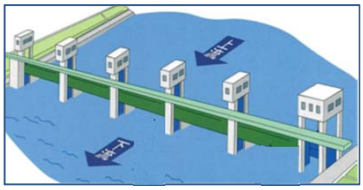
堰の断面図



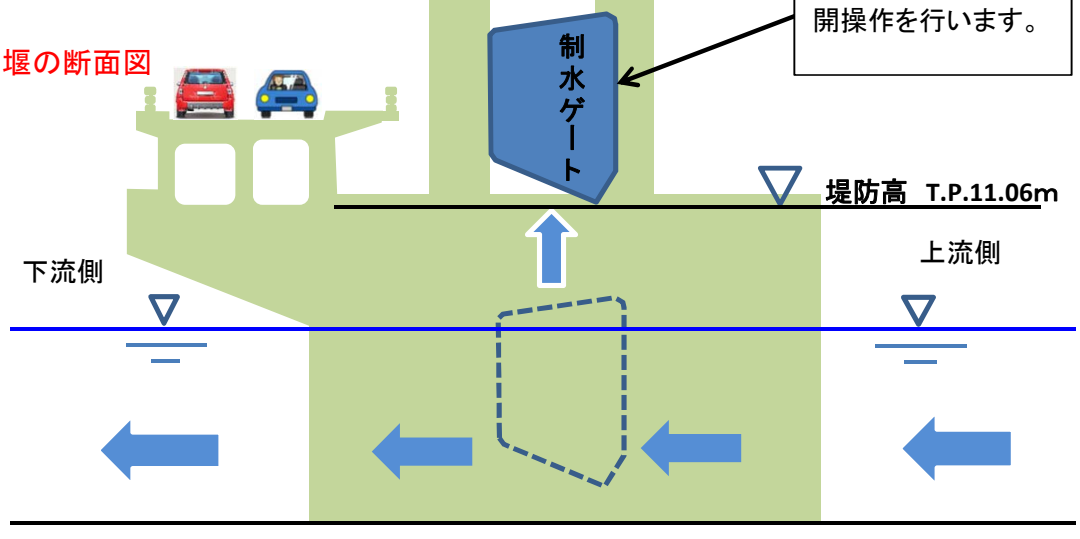
上流水位を一定に保つように流量に応じてゲートを開閉します。
なお、下流からの塩水の浸入を防ぐため、制水ゲートからのアンダーフローを主体として操作を行っています。

洪水時のゲート状態
（全開操作の模式図）

筑後大堰（イラスト）



堰の断面図



洪水時のゲート操作は、すべてのゲートを堤防高と同じ高さまで引き上げ、洪水を安全に流下させるようにゲートの全開操作を行います。

※ 堰の断面図は筑後大堰管理所側（左岸側）より見たものです。